

第28回気仙スギまつりの開催

1 気仙スギまつりの概要

気仙スギまつりは、気仙地域において生産される良質材のPRや地域住民の森林・林業に関する理解の醸成を図るため開催されています。

平成23年度は、東日本大震災津波の影響で、開催されませんでしたでしたが、今年度は、平成24年10月28日に、住田町役場を会場とし、第18回すみた産業まつりとの併催で、気仙スギまつり実行委員会の主催により開催されました。

2 催し物の概要

気仙スギまつりでは、クイズ、ペレットストーブの展示、林業関係機材物販等の催し物が行われ、大船渡農林振興センターの催し物では、木の葉当てクイズと落ち葉のパウチ作りを行いました。（図-1、図-2）

木の葉当てクイズは、大船渡地区に自生するか、植栽されている木の葉29種をパウチ加工したものから、4問出題し回答してもらいました。普段、目にしているサクラやスギなどでも、パウチ加工して押し潰されていることもあり、判断に迷う方もいました。

参加者の中には、選択肢を見ずに、29種類中、27種類

を正答した強者もいました。

落ち葉のパウチ作りは、落ち葉をハサミで切り抜いたり、様々な色の台紙を挟んだり、ペンで絵を追加したりして、オリジナリティの高いパウチ作りを楽しんでいただきました。また、その場で撮影した写真等をパウチに入れることも可能にし、変化に富んだ落ち葉のパウチ作りができるよう工夫しました。

荒天のため、入り込み数が少なかったのですが、小学生の女の子からは、「来年も来てね」、という言葉が掛けていただき、参加していただいた方には、楽しんでいただけたようでした。



図-1 木の葉当てクイズ



図-2 落ち葉のパウチ作り